



みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所

御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所

静岡県清水区日の出町7番2号

TEL. 054-352-4146 (代表)

<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

御前崎港においてコンテナクレーンの風逸走対策の実証実験を行いました

【緊急時のブレーキテスト】

平成22年1月21日に御前崎港で発生したコンテナクレーンの強風による逸走事故等を受け、国土交通省（本省）としては、有識者懇談会による検討結果を踏まえ、技術基準省令の改正等、荷役機械の安全対策性向上に向けてさまざまな取組みを順次進めているところです。

- ・ガントリークレーンの風に関する安全対策の講習会の開催
- ・ガントリークレーンのモデル運用規定の策定
- ・ガントリークレーンに関する「港湾施設の技術上の基準」の「風」に関する項目の追加
- ・逸走防止装置等の能力向上のための技術開発

現在コンテナクレーンの逸走防止装置としてはレールクランプによる制動で、車のパーキングブレーキの機能しかないので、逸走中にクレーンを制止させるだけの制動力はありませんでした。

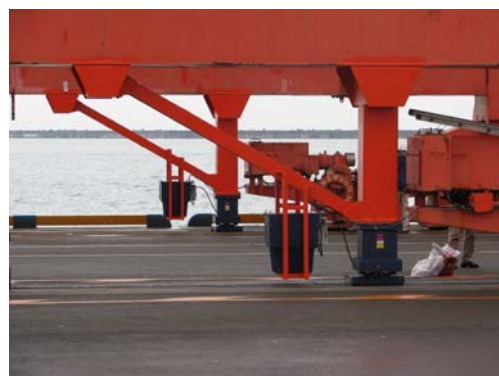
海外では逸走状態でも制動する装置として「レールブレーキ」を開発されていますが、国内での導入実績がないため国内導入の検討に際し制動性能を確認するものとし、静岡県及び(社)港湾荷役機械システム協会と共同で実証実験を行ないました。

実験は平成22年11月15日から19日の内4日間に渡り、ブレーキシューの種類による効果や、レール面の乾燥時と湿潤状態による制動の確認を行ないました。この実験によって得られたデータを取りまとめ、計算値と実測値の比較を行ない、効果の検証を行っていきます。

また、風によるコンテナクレーンの荷役作業の中止や避難の判断を迅速に行なうため、風速計の数値をクレーン操縦者と管理責任者が同時に確認できるようにするとともに、基準風速を超えた場合は操縦者及び管理責任者に対しアラームで告知する安全システムを国土交通省が試作し、その効果の実証を行う予定です。



実証実験を行なった1号機



レールブレーキの設置状況



制動距離の測定状況

「風向き」

清水港湾事務所長 奥田 薫

強風による御前崎港のクレーン逸走事故から11ヶ月が経ちました。静岡県による早急な対策検討と運用改善、復旧は春までには終了しており、この経験を全国の教訓としなければならない国土交通省は、基準類の改正等を行ないながら、現在は現場ベースの実証を始めています（上記記事）。基準類としての一般化も重要ですが、現場における適用性、現場で何が問題になるのか、そういったフォローもしっかり行って更に全国の安心に繋げていくことも重要と考えています。風速計測と連動した安全システムの試作は整備局・事務所が担当しますが、“現場の風を全国の順風に”、という使命感をもってこの仕事にあたる所存です。



今年清水港目の出岸壁に入港した客船



清水港では清水港客船誘致委員会の主催で客船を誘致する活動を行っています。今年度は10月7日にオランダ船籍の「アムステルダム」や11月21日には今年3月に大改装した「にっぽん丸」が初寄港を果たし、昨年度も寄港実績のある「飛鳥Ⅱ」においては10月22日及び11月15日に寄港し、12月21日には3回目の寄港が予定されています。

「アムステルダム」が寄港した際には川勝静岡県知事を始め、清水港客船誘致委員会の望月薫会長らが歓迎式典を開催し、川勝知事からは「美しい富士山が見えるこの清水港の景色を楽しんで欲しい」と歓迎の挨拶をされました。式典ではエバンセン船長らに清水小学校の生徒から花束が贈られ、きっずソーラン節の披露に船上からの多くの乗客や乗組員、出迎えに訪れた方々から大きな拍手が贈られました。



アムステルダム歓迎式典の様子



アムステルダム



飛鳥Ⅱ



にっぽん丸

★ 清水港興津地区でFAZフェア開催 ★

10月24日（日）に興津地区において第10回清水港興津 FAZ フェアが開催されました。当日は輸入商品を紹介する催しが開催され、世界各国のワインや雑貨、民芸品などを中心とした商品や地元産品、農産物が展示販売されました。

当所のブースでは「暮らしをささえる港」をテーマに新興津地区の整備状況の説明や昔の清水港の写真を見ながら訪れた方々との意見交換をしました。

このFAZ フェアは平成4年に施行された、「輸入の促進及び対内投資事業の円滑化に関する臨時措置法（FAZ 法）」に基づき輸入の円滑化を図るため港湾・空港及びその周辺地域において輸入関連事業者の事業活動を促進させるための地域（Foreign Access Zone : FAZ）を設定し、この清水港では平成10年に興津国際流通センター1号棟が完成して以来毎年開催されているイベントで、例年多くの来場者があります。

平成20年には隣接して2号棟も完成し、大規模な荷さばき施設として、保管、検品、流通加工等の機能を集約して流通コストの削減やCO2排出量削減を図っています。



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間: 9時30分～12時、13時～17時（土・日、祝祭日は除く） その他、海とみなとに関することは
※携帯電話・PHSからもご利用できます 何でもお問い合わせください

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

■本紙に関するお問い合わせ先■
清水港湾事務所 企画調整課
深澤・杉山 Tel. 054-352-4148
ご意見ご感想をお寄せ下さい。
shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp